

# 新たな価値を創造し、 持続的成長を目指します

## 2017年12月期第2四半期の業績について

国内では3月に採択されたものづくり補助金が後押しとなり、自動車、スマートフォン関連を中心に受注・売上ともに堅調に推移しました。海外では、北米は前期まで好調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連に一服感が見られました。欧州では、ロシア、トルコ等では厳しい状況が続きましたが、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連から堅調な需要が見られました。中国ではものづくりの高度化及び自動化対応等の影響を受け高精度機の需要が拡大していることに加え、政府の補助金政策

も後押しとなり高水準の受注が継続いたしました。アジア地域においても自動車、スマートフォン、半導体関連などで回復基調に推移しました。当第2四半期の業績につきましては、中華圏での高水準な受注・販売が牽引となり、売上高424億8百万円、営業利益42億6百万円と期初計画を上回る水準で推移しました。

## 通期業績見通しについて

米国政権の政策や欧州の政治情勢、北朝鮮情勢の緊迫化などに対する懸念はあるものの、足元では受注状況が堅調に推移していること、第2四半期の業績等を踏まえ、通期

業績予想を上方修正いたしました。売上高は605億円、営業利益は60億円と期初計画を上回る見通しです。

(単位:百万円)

	通期業績予想 修正前	通期業績予想 修正後	増減額
売上高	55,800	<b>60,500</b>	4,700
営業利益	5,300	<b>6,000</b>	700
経常利益	5,200	<b>6,300</b>	1,100
当期純利益	3,700	<b>4,300</b>	600

## 配当について

当社は、DOE（株主資本配当率）2%以上を目標とした安定的かつ継続的な配当を実施するとの基本方針に基づき、当期の中間配当は1株につき10円とさせていただきます。期末配当につきましては、10円（年間20円）を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

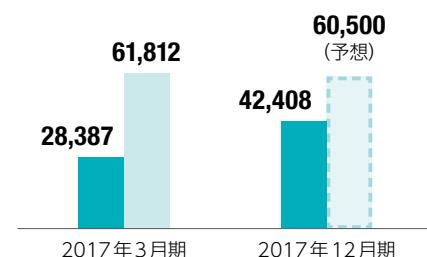
代表取締役社長  
金子 雄二



## ■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

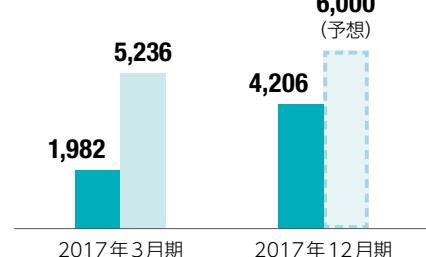
### 売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期



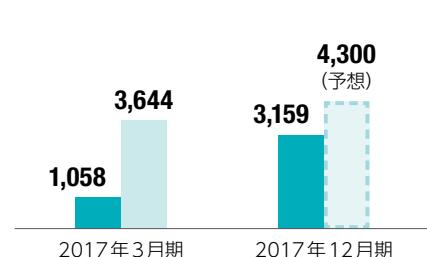
### 営業利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



※ 2017年12月期は事業年度変更に伴い、9か月の変則決算となります。

## 地域別の売上高構成



## 2017年12月期 第2四半期の連結対象期間

	2017年3月期				2017年12月期			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3月決算会社	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
12月決算会社	6か月				6か月			
	6か月				9か月			

※ 12月決算会社は、中国の連結子会社7社です。